



2021・6・11

第 412 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

野党共闘前進で菅憲法破壊政治に断

菅政権退陣へ野党共闘さらに

【香川県／九条の会かがわ・香川革新懇】

九条の会かがわと香川革新懇は6日、高松市で菅政権退陣を求めて集会を開催。

立憲民主党県連の吉峰幸夫市議、日本共産党の藤沢やよい市議、新社会党県本部の井角操委員長、社民党県連の三野ハル子代表がリレートークし「四国から、香川から野党共闘の勝利を」など4氏がそろってメールを送りました。

井角氏は「生命とくらしを守る立場にたって発言する政治家を、市民と野党の共闘で」、藤沢氏は「命を大切にす姿勢を国政に反映する候補者を選ぶことが政治を変える力」、三野氏は「土地利用規制法案や国民投票改定法案を何としても廃案に」と訴え。

参加した男性(61)は、「土地利用規制法案など悪法が通ったら日本はこれまで通り暮らせないと思う。空恐ろしい。自公政権を打倒して、国民と民主主義を大切にす政権ができてほしい」と話しました。

戦争体験引継ぎ九条守る力に

ガイドラインの合意と今日

自民党国防部会は2日、「激変する安全保障環境に対応した防衛力の抜本的強化のための提言」を菅首相に提出しました。「提言」は「地域及び国際社会の主導権をめぐる米中間の競争」を指摘し、「2000年以降、中国の国防費は10倍以上に膨らみ、今や我が国の約4倍」と強調しています。

こうした見解はすでに4月の日米首脳会談でインド太平洋地域の安全保障での日米同盟の役割強化のために「自らの防衛力を強化すること」を表明した内容であり、次年度予算への反映を目指したものです。

注目すべきは、こうしたなかで、自民党内で、安保条約の条文改定ともいえる日米防衛協力のための指針(ガイドライン)改定の動きが浮上していると指摘されていることです(6月4日「日経」)。

ガイドラインの誕生は東西冷戦激化のもとでの78年、そして改定は集団的自衛権容認・戦争法強行の2015年です。今や、この2回に匹敵する情勢ということか。

【横浜市／本牧・山手九条の会】

本牧・山手九条の会は5月29日(土)、横浜上野町教会で第17回目の横浜大空襲を語り継ぐつどいを開催しました。コロナ禍のなか、何名の方に参加していただけのか心配でしたが、予想の1・5倍の参加者60名があり、満席でした。改めて戦争と平和、憲法に対する関心の深さに力強さを感じました。

本牧在住の柴田順吉さん(88歳九条の会代表世話人)から「中学一年生の僕が体験した横浜大空襲」のお話を聞きました。1945年5月29日の昼間に米軍によって横浜中心部の無差別爆撃。第2次世界大戦中最大規模の焼夷弾攻撃で老若男女8千から1万名に及ぶ死者を出した横浜大空襲。

柴田さんは両親、兄、妹の5人家族で、当日自宅でサイレンを聞き、兄と防空壕に避難したが熱風と爆風に耐え、隙間を見て海岸へ。そこで見た光景は生き地獄で、爆撃機が海に投棄したガソリンに火がつき一面「火の海」となっていた。海の中で火をかき分けながら崖下まで泳ぎ生き延びたと。常々柴田さんは「歴史の教訓を忘れると、人は必ず同じ間違いをする。若い人に過去や歴史を学んでこれからの人生に活かして欲しいと語った。

講演の他、当時の証言を集めたビデオ上映と平塚武二筆者「ヨコハマのサギ山」を新婦人の仲間が朗読し好評でした。

(本牧・山手九条の会 阿部勝二)

原発事故に学び核禁条約批准へ

【静岡県掛川市／九条の会掛川】

私たち九条の会掛川は去る5月30日、「フクシマ10年&浜岡原発」をテーマにして憲法寺子屋を開催しました。

今年は、福島第一原発の過酷事故から10年が経過し、年初には「核兵器禁止条約」が発効しました。このことから話題提供者に、フクシマをはじめ東日本大震災の被災地に数十回も入りボランティア活動や視察を行い、さらに浜岡原発の御前崎市にも何度も足を運び原発問題提起している方。「核兵器禁止条約」の重要性を深く追究し、日本の調印・批准を求める活動をしている方。金曜アクションin掛川」で毎週金曜日に掛川駅前に立ち「浜岡原発の再稼働反対」を訴えている方の3名が体験と現状、問題点などを話しました。

この中で、フクシマの復興が進んでいないこと、浜岡原発の御前崎市には独特の歴史的な風土があり、原発反対の運動が進めづらいこと。『日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准求める意見書』の提出を掛川市議会に陳情した際の落胆させる対応。東海地震の震源の真上にありながら浜岡原発に対する意識の低さなどが話されました。

これに対して、参加者の質問や意見が自由に交わされました。ご意見の中には、ある年配者は戦時中塗炭の苦しみを受け、その経験から絶対に戦争はダメの意見。行政の面から掛川市でも再生可能エネルギーによる新電力会社を設立して地産地消の動きがある。原発は発電しながら原爆の原料を作り続けているから、原発の再稼働は許せないこと。IT

技術の発達でサイバー攻撃を受け、原発事故の心配があることなどが出ました。

寺子屋は参加者が自由にトークンができる場です。結論は出さずに参加者がテーマに添った意見を出し合った有意義な集会になりました。

(九条の会掛川・斉藤 明)

東北交流会をオンラインで開催

【東北6県9条の会】 第10回目となる「九条の会・東北交流会」は、2020年5月に山形市での開催予定を中止、今年5月30日にオンラインで開催しました。初めてのオンライン集会でしたが、東北各県の九条の会から150人が参加して、これまでのリアル集会と同規模の交流会となりました。

交流会では基調講演として、防衛ジャーナリストの半田滋さんから「敵基地攻撃と日米一体化～踏み越える専守防衛～」と題して講演していただき、「事実上の9条改憲」とも言える“戦争する国づくり”を軍事面から具体的に学ぶことが出来ました。「軍備増強ありきで自主性・独立性のない日本の姿を痛感し、憲法九条を守る運動の緊急性と重要性を再認識できた」という感想とともに、「軍事のことはよく分からないし、署名などの時にどう説明すればいいのか戸惑いがある」、という率直な意見もありました。

各県から活動報告がなされ、参加者からは、「コロナ禍の難しい条件のもとで工夫しながら活動を続けていることが分かり大変良かった、今後の運動に

大きな刺激となった」という感想が寄せられています。市町村長九条の会東北連合からも、首長経験者の想いと結成に至る経過などの報告がありました。オンライン集会は、県を超えて集会場まで行く時間と経費が節約できること、主催する側の経費と人員が少なく済むこと、などのメリットがある反面、交流場面が制限され、意識意欲・連帯感などがどうしても希薄になるなどの、課題も明らかになりました。

(山形県九条の会連絡会 清野)

宮城県の首長の会の経験から

【宮城県／憲法九条を守る首長の会】

憲法九条を守る首長の会(2008年2月結成)は第14回総会を4月29日に仙台市で開催。会員6名、事務局3名、会を支えてくれているみやぎ憲法九条の会3名、「市民連合」3名の計15名が参集し、密を避けてゆったり座る。急に体調を崩された川井会長に代わり鹿野筆頭副会長が開会挨拶し、森副会長を議長にして進行しました。

最初に、秋の総選挙に向けて、市民連合代表の多々良哲さんが、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める野党共闘の方針」を説明し、1時間かけて議論し、野党共闘で改憲を粉碎することを誓い合った。

栗原市議選に尾形勝通元町長が当選し、状況を報告しつつ挨拶。皆で拍手で祝った。

情勢報告はみやぎ憲法九条の会の事務局長板垣乙未生さん。総選挙情勢、改

憲情勢、コロナ問題、森友・加計学園問題、広島河井克行議員への1・5億円の提供問題など、色々な角度から報告し、参加者が各人の経験を出し合い、深め合った。

鹿野副会長が昨年の活動と今年の活動方針を報告。残念だったのは会員で亡くなった人が1人(その後さらに1人)、辞めた方1名がいたこと。「加入者を広げる」ことを話し合った。

2019年11月17日に結成された全国首長九条の会がコロナ禍で総会を持ってないことは残念。「全国首長の会ニュース」が21号をかぞえ大きな力になっている。2008年に宮城と秋田に首長の会が結成されて13年が経過。全国首長九条の会の結成は「東北6県市町村長九条の会連合」の大きな目標だった。全国首長九条の会は今後の活動の拠点になると喜び合った。冊子「憲法九条を守る首長の会の理念と経過」(68P)を発刊し、全国の会員及び関係する方々に300部配布(残100部)。

2021年度の方針では、「全国首長九条の会を強化・拡大」「東北6県市町村長九条の会連合の強化」「会員を広げる」「衆議院選挙は野党共闘で勝つ」「コロナに負けない」「会費は1万円+αを拠出」などを話し合った。役員改選では、川井貞一会長、鹿野文永筆頭副会長、3副会長の5名体制を維持することとし、6月4日に会長・副会長会議を開催し、更に具体化することにした。(事務局 池上武)

鐘つきで平和の大切を再確認

【和歌山県たなべ市ノきび9条の会】

「2004年に九条の会結成がよびかけられて、すぐ準備会ができ、しばらくして鐘つきが始まったからもう15年にはなると思う」と、事務局長の喜多さん。

ここは西光寺。もう1つの浄教寺でも、毎月15日正午から鐘がつかれます。参加者は、いつもはそれぞれ5人ぐらい。

交替で、九条を守る平和への思いをこめてつきます。回数は決まっていません。気がすむまで。

時には、子ども達がついてくれることも。(「たなべ9条通信」No.161)

わが9条の会の日常を振り返る

【京都市ノ修学院学区九条の会】

修学院学区九条の会では、月2回修学院学区の皆さんと平和について語りたいと署名行動しています。《毎月第1火曜京都芸術大前で午前12時15分から、第3火曜日は一乗寺下り松バス停前で午前11時から12時。》途中からでも、短時間でも、どなたでも参加できます。

3・30 「つうしん」 発送作業 10名

4・6 署名宣伝行動 京都芸大前10名

4・10. 近現代史学習会 23名

4・15 呼びかけ人会議 7名

5・3 憲法集会 オンライン

5・4 署名宣伝行動 京都芸大前 3名

5・13 呼びかけ人会議 8名

5・18 署名宣伝行動 5名

(「九条の会修学院学区つうしん」No98)